

重点環境施策2 安全・安心な食の提供と地産地消の推進に取り組みます。

前期指標	策定時現状値	実績値推移					前期目標
		H30	R1	R2	R3	R4	
地場農産物の学校給食使用率 (説明) 県内産野菜21品目の使用重量/野菜21品目の総使用重量(年間)	31.2% (H29)	33.4%	35.6%	24.9%	37.6%		
グラフ 県内産野菜21品目の使用重量/野菜21品目の総使用重量(年間)							
推移の分析・考えられる要因							
横ばい 学校給食における地場農産物の使用率の変動は、給食に使用しやすい野菜等の確保や天候等の理由により必要な数量を確保できないこと等も考えられるが、ほぼ横ばいに推移している。							

【後期計画に向けて】

指標の方向	新規
その理由 (削除の場合)	
R9目標値	目標値設定理由
40.0%	地産地消と食育を推進するため、地場農産物の学校給食使用率を新たに目標値設定します。
今後の施策の方向性、考えられる対策等 ・施策の方向性：健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 ・考えられる対策等：学校給食における地場農産物の使用割合を維持します。	
対応する SDGs目標	